

富山新港火力発電所石炭 1 号機の運転再開について

平成25年7月24日
北陸電力株式会社

当社は、富山新港火力発電所石炭 1 号機（定格出力25万kW）において、煙突より降下したとみられる小さな固形物を発見したため、煙突内の点検を実施いたしました。点検の結果、煙突内面に厚さ最大 2 mm 程度の固形物が付着していることを確認したため、これまで除去作業を行ってまいりました。

(7月9日・22日お知らせ済み)

このたび、煙突内面付着物の除去作業が終了しましたので、昨日（7月23日）13時05分より発電を再開し、確認試験を実施した結果、煙突からの降下物がないことを確認いたしました。

また、煙突から降下した固形物については、分析の結果、煙突内面に付着した固形物が剥離したものと判明しました。固形物が付着した原因については、今後、詳細調査を行ってまいります。

当社は、今後も発電所の安全運転に万全を期してまいります。

以 上